

●2018年10月17日(水) 10:00より、「GLOOBE 2019」「GLOOBE VR Ver.3」の最新版プログラムの提供が始まります。

最新版プログラムをダウンロードしてご利用ください!

GLOOBE 2019
Japanese Building Information Modeling CAD System

最新版プログラムへの更新手順

P1~5をご覧ください。

GLOOBE VR Ver.3
の更新手順はP6・7をご覧ください。

最新版への更新は、「FCコンシェルジュ」から行えます!

※FCメンバーシップ「安心パック」「プログラム保守パック」、または「レンタル商品」をご契約されているお客様が対象です。

1 デスクトップ上のアイコンからタスクバー内のアイコンをクリックし、FCコンシェルジュを開きます。



FCコンシェルジュをご利用でない方は
[こちら](#)よりダウンロードしてご登録ください。



2 「プログラム更新」ページ、「最新版プログラムダウンロード」の「ビル」ボタンをクリックします。



3 お使いのプロテクトの種類をクリックして、最新版へのアップグレードを行ってください。

●ご利用には、インターネット回線への接続が必要になります。お客様の通信環境によっては、ダウンロードにお時間を要する場合がございます。

●インストール作業をする前に、必ずデータのバックアップを行って下さい。



ネット認証プロテクト 占有/共有の場合



下記の手順で更新をお願いします。

※開発中につき、一部記載が異なる場合がございます。ご了承下さい。

1 お使いのプロテクトタイプを選択します



「FCコンシェルジュ」を起動し、「プログラム更新」を押して「ビル」を選択し、「ネット認証プロテクト」をクリックします。

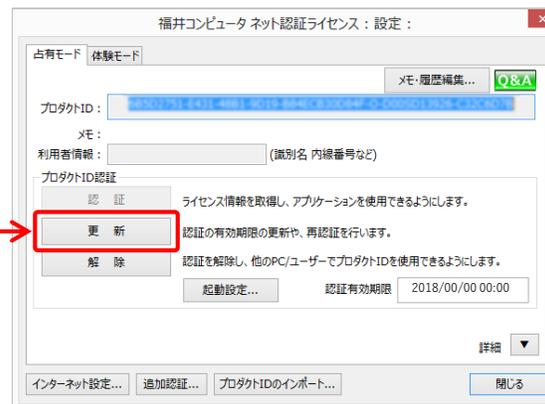


「ネット認証プロテクト」をクリックします。

2 プロテクト情報を更新します



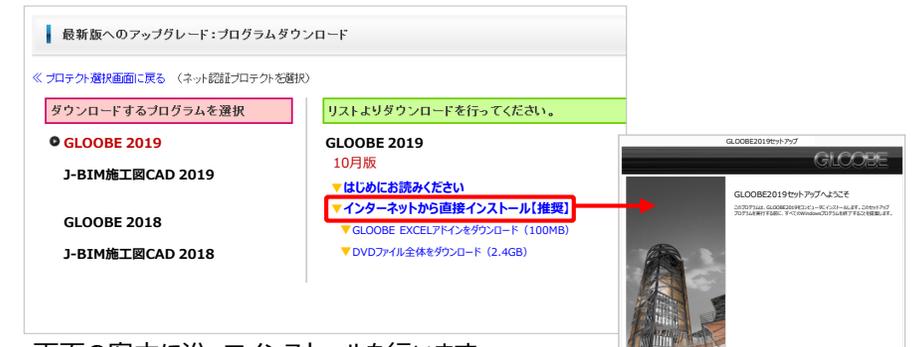
「ネット認証ライセンスセンターを開く」をクリックし、画面の案内に沿ってライセンスを更新します。



3 最新版プログラムをインストールします



「次へ：最新版プログラムのダウンロード画面へ」を選択します。



画面の案内に沿ってインストールを行います。

※詳細な手順は、「はじめにお読みください」をご覧ください。

●インターネットから直接インストール【推奨】

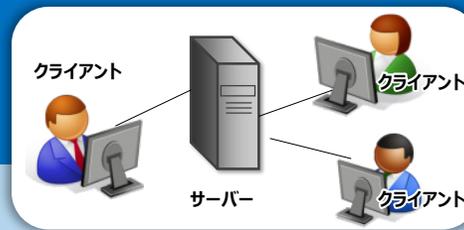
プログラムのダウンロードとインストールを連続して行います。より早くセットアップを行いたい方にお勧めです。

●DVDファイル全体をダウンロード

GLOOBE2019をDVDイメージでダウンロードします。

複数台でお使いの場合や、インターネットに接続できないコンピュータがある場合には、DVDイメージを共有してお使いください。

ネット認証プロテクト LANの場合



「サーバを更新」してから「クライアントPCに最新版プログラムをインストールしてください。」

※開発中につき、一部記載が異なる場合がございます。ご了承下さい。

サーバーを更新します

ご注意

サーバーにFCコンシェルジュが無い場合は、更新ファイルのダウンロードは、クライアントPCで行ってください。

1 お使いのプロテクトタイプを選択します



「FCコンシェルジュ」を起動し、「プログラム更新」を押して「ビル」を選択し、「ネット認証プロテクト LAN型」をクリックします。

2 サービス更新ファイルをダウンロードします



「サービスアプリケーション更新ファイルをダウンロード」をクリックし、画面の案内に沿って、サービス更新ファイルをダウンロードします。

3 サーバーの更新を行います

●管理プログラムを更新します
ダウンロードした「netlan」フォルダを、サーバーで実行し、画面の案内に沿って更新します。



※クライアントPCでダウンロードした場合も同様です。

●ライセンス情報を更新します
「FCネット認証ライセンスLANモードサービスコントロール」を起動します。「ライセンス認証」を押し、画面の案内に沿って更新します。



サーバーの更新が完了後、クライアントPCにプログラムをインストールします → 4

クライアントPCに、最新版プログラムをインストールします

4 お使いのプロテクトタイプを選択します



「FCコンシェルジュ」を起動し、「プログラム更新」を押して「ビル」を選択し、「ネット認証プロテクト LAN型」をクリックします。

5 最新版プログラムをインストールします



「次へ:最新版プログラムのダウンロード画面へ」を選択します。

最新版へのアップグレード:プログラムダウンロード

ダウンロードするプログラムを選択

- GLOBE 2019
 - J-BIM施工図CAD 2019
 - GLOBE 2018
 - J-BIM施工図CAD 2018

リストよりダウンロードを行ってください。

GLOBE 2019 10月版

- はじめにお読みください
- インターネットから直接インストール【推奨】
- GLOBE EXCELアドインをダウンロード (100MB)
- DVDファイル全体をダウンロード (2.4GB)

画面の案内に沿ってインストールを行います。

※詳細な手順は、「はじめにお読みください」をご覧ください。

- インターネットから直接インストール【推奨】
プログラムのダウンロードとインストールを連続して行います。より早くセットアップを行いたい方にお勧めです。
- DVDファイル全体をダウンロード
GLOBE2019をDVDイメージでダウンロードします。複数台でお使いの場合や、インターネットに接続できないコンピュータがある場合には、DVDイメージを共有してお使いください。

SNSタイプ (USBプロテクト) の場合



PCにプロテクトを装着し、下記の手順で更新をお願いします。

※開発中につき、一部記載が異なる場合がございます。ご了承下さい。

1 お使いのプロテクトタイプを選択します

書換えるプロテクトをPCに装着します

「FCコンシェルジュ」を起動し、「プログラム更新」を押して「ビル」を選択し、「USBタイプのプロテクト」をクリックします。

2 プロテクト情報を更新します

シリアルNo.
パソコンに装着したプロテクトのシリアルNo.が表示されます。

シリアルNo.を確認し、「プロテクトの書き換えを実行します」をクリックします。

3 最新版プログラムをインストールします

「次へ：最新版プログラムのダウンロード画面へ」を選択します。

画面の案内に沿ってインストールを行います。

※詳細な手順は、「はじめにお読みください」をご覧ください。

- **インターネットから直接インストール【推奨】**
プログラムのダウンロードとインストールを連続して行います。より早くセットアップを行いたい方にお勧めです。
- **DVDファイル全体をダウンロード**
GLOBE2019をDVDイメージでダウンロードします。複数台でお使いの場合や、インターネットに接続できないコンピュータがある場合には、DVDイメージを共有してお使いください。

SNS-LANタイプ (USBプロテクト) の場合



最新版プログラムへの更新手順については、電話サポートセンターまでお問い合わせをお願いします。

GLOBE 2019 新機能

BIMモデル（データ）のさらなる活用を見据え、法規に強いGLOBEの基準法機能の追加、強化を行いました。さらに外部データのBIM活用で周辺地形の利用や既存構造物データの重ね合わせなど様々な活用が可能です。

2018年10月17日
GLOBE2019
New Release

J-BIM Officialサイト

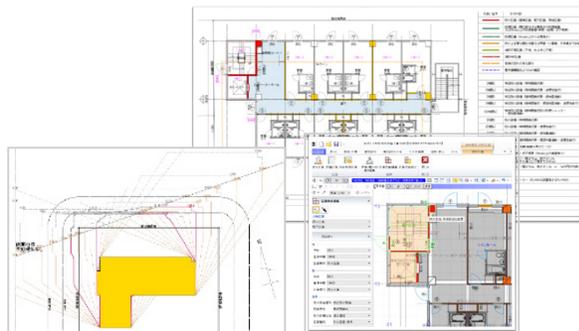
<http://j-bim.globe.jp/>

J-BIM

検索

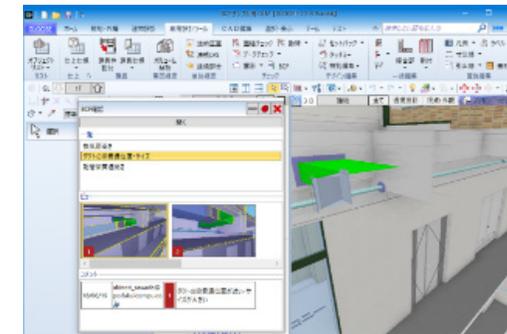
■ 確認申請

- GLOBEの建築基準法の機能と自動作図機能を生かし、GLOBEモデルによる「BIM確認申請」実現に向けてプログラムの機能追加や拡張を行い、日本仕様の強化を図りました。
- 法的区画の性能編集コマンドを追加し、柱・壁・建具の区画種別情報の確認と編集を可能としました。



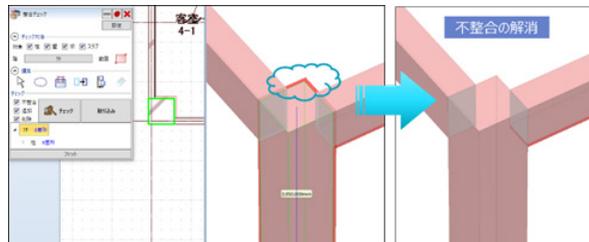
■ BCFファイル読み込み

- 「IFCファイルを利用するユーザーの相互コミュニケーションを容易にする」ためのフォーマットに対応しました。
- 指摘箇所を的確、かつ確実に把握/修正し、修正個所の情報のみでのコミュニケーションが可能となります。
- IFCデータを直接やり取りする必要がないため、IFC変換の頻度が減り、業務時間が短縮されます。



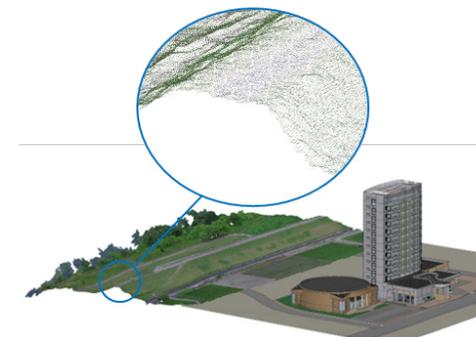
■ モデル比較整合チェック

- GLOBEのモデル（意匠）と構造モデル（ST-Bridge）・施工モデル（IFC）のデータを重ね合わせ、「柱、壁、梁、スラブ」の躯体データの不整合をチェックできるようにしました。
- 範囲でのチェック、躯体を指定しての取り込みなども可能です。



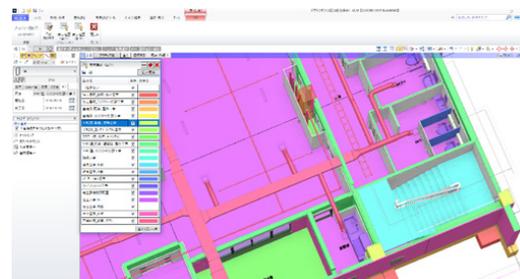
■ 点群データ読み込み

- 周辺地形の点群の利用、既存構造物の点群の重ね合わせなど、点群とBIMデータを合成し様々な検討やプレゼンテーションが行えます。
- 読み込んだ点群データは、レンダリング（CGパース）やVRにも出力されます



■ 4Dシミュレーションの拡張

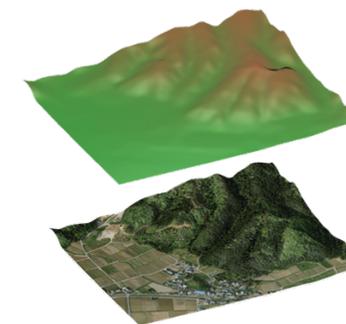
- 工事区分（施工ステップ）ごとに色分け表示した状態や、指定日での施工状況を表示した状態で、データの編集を可能にしました。



■ 景観地形データの読み込み

- 地理院地図※の標高タイルを読み込み、正確な地形データと写真画像によるリアルな景観を表現できます。

※地理院地図とは、地形図、写真、標高、地形分類、災害情報など、国土地理院が発信するウェブ地図です。



最新版プログラムへの更新手順

GLOOBE VR Ver.3

●2018年10月17日(水) 10:00より、GLOOBE VR 最新版プログラムの提供が始まります。

最新版プログラムをダウンロードしてご利用ください!

最新版への更新は、「FCコンシェルジュ」から行えます!

※GLOOBE VRをご契約のお客様が対象です。

1 デスクトップ上のアイコンかタスクバー内のアイコンをクリックし、FCコンシェルジュを開きます。



FCコンシェルジュをご利用でない方は
[こちら](#)よりダウンロードしてご登録ください。



2 「プログラム更新」ページ、「最新版プログラムダウンロード」の「ビル」ボタンをクリックします。



3 画面の案内に沿って最新版に更新してください。

※詳細な手順については、プログラムダウンロードページの「▼はじめにお読みください」をご覧ください。



- ご利用には、インターネット回線への接続が必要になります。お客様の通信環境によっては、ダウンロードにお時間を要する場合がございます。
- インストール作業をする前に、必ずデータのバックアップを行ってください。
- 開発中につき、画像など一部実際のものとは記載が異なる場合がございます。ご了承ください。

「GLOOBE VR Ver.3」
新機能は次のページで!



計測機能

VR体験をしながら、高さや距離などを測る「計測機能」に対応しました。
気になる距離を計測し、体感的に差異がないかを確認いただけます。

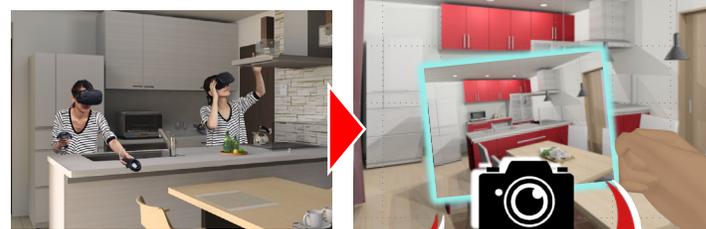
■ 距離計測



スナップショット機能

VR体験でお気に入りの視点を見つけたら、すぐその場で写真(スマホVR含む)を出力できる「スナップショット機能」を搭載。
ご自宅でも簡易VR体験が行えます。

■ VRで素材や設備をコーディネートして



カシャッ!



■ パノラマモードで撮ればスマホVRも可能!

■ 静止画で保存

Windows MR 対応

HTCのViveやOculusのOculus Riftに続き、Windows MR※デバイスにも対応。
※Windows MRとは：
マイクロソフトが開発しているバーチャルコンテンツのためのプラットフォーム「windows Mixed Reality」の略称です。



画像はMRの一例です。

【Windows MR】

- ・安価
- ・高解像度
- ・軽量
- ・外部センサー不要
- ・セットアップが簡単